

「とても幸運な時代」だった ～ 戦後焼け跡からの「第一創業期」

「目指す方向 & 先行モデル」があり、しかも「人口拡大 & 若さ」で高度成長を実現！

「第一創業期」 (=1945年～) の大成功 ～「一本道のレール」を走り抜いた日本人～

「軍備は最小限に、経済でアメリカに キャッチアップ」という国家戦略

- GHQによる公職追放で日本の指導者層は若返り、朝鮮戦争という大きな特需があり、ベビーブームで人口は急拡大し、「1億総サラリーマン化」／「1億総中流化」を実現した

「高度成長と人口拡大」で経済大国に

- 「年7% (=10年で倍増のペース) の高度成長」が、独立回復した1951年から“バブル崩壊”1990年まで40年続いて、「労働人口」も「消費人口」も拡大し続けた。世界史上でも例がない

「日本型雇用制度」が機能した時代

- 目指す方向が「戦後復興」と明確で、アメリカという「先行モデル」もあり、がむしゃらに働けばよかった。「会社への忠誠心」が高く、言われたことを忠実にこなす人材が評価された

「1億総サラリーマン化」 & 「1億総中流化」

高度成長



明日は
今日より豊か！



マイホーム



マイカー



海外旅行

日本型雇用 「新卒一括採用／終身雇用／年功序列／定年制」

国民の多くが「受験 ▶ 就職 ▶ 定年 (55⇒60歳へ) ▶ 年金生活 (=余生)」という「一本道のレール」を終着駅まで走り抜けた

- アメリカを先行モデルに、一丸となって経済大国を目指す体制に「日本型雇用制度」が完璧にマッチし、大いに効果を発揮した。素直さ／協調性／我慢強さがあり、上司の言うことをよく聞く「人材」が好まれ、遅くまで残業する「働き方」が美德とされた
- 復興の目途がついた1961年、「年金 & 健康保険制度」を発足させた。この社会保障制度を設計した当時、男性の平均寿命65歳で年金支給60歳から。支給期間は5年、65歳以上の高齢者は総人口の6%と小さく、国／社会としては大した負担ではなかった